

КЫРГЫЗСТАНДАН(キルギスより) イスラム教の国で暮らす

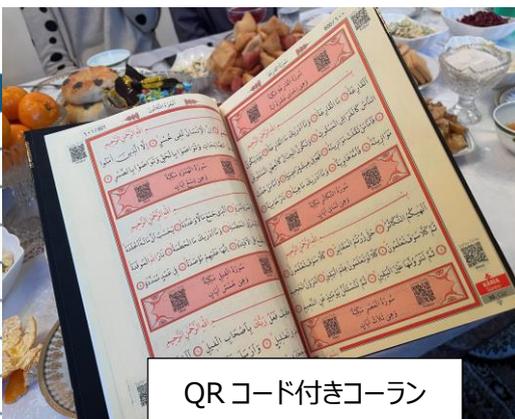
No.2 | 2024.3 | 渡邊歩

中央アジアの国、キルギスでは主にイスラム教スンニ派を信仰しています。私自身、これまでイスラム教についての知識が乏しく、イスラム教信者の方々と関わることがなかったので、この国でイスラム教について知ることはとても興味深いです。もっと世界史をしっかり勉強しておけばよかったと痛感しています。イスラム教というと、「女性の人は髪の毛や肌を隠して、毎日お祈りして、厳しいのでは？」というイメージを持っている人もいます。イスラム教と言っても、国によって人によって信仰度はさまざま。吉城高校のみなさんに、私がキルギスで体験したこと、知ったことを共有したいと思い、今回はキルギスの宗教事情について書いてみました。ぜひ読んでください。私が見聞したことであり、キルギス人全員が以下の考え方ではないことをご了承ください。

ОРОЗО-2024: НАРЫН

Число	День недели	Сухур	Ифтар
11.03	Понедельник	5:41	19:03
12.03	Вторник	5:39	19:04
13.03	Среда	5:37	19:05
14.03	Четверг	5:36	19:06
15.03	Пятница	5:34	19:07
16.03	Суббота	5:32	19:08
17.03			19:09
18.03			19:11

断食のためのカレンダー



お祈り

イスラム教の教えではお祈りは1日5回となっています。町にはモスクがあり、時々お祈りの声が聞こえてきます。また、サービスエリアなどにはお祈りの部屋が設置されているところもあります。しかし私の見る限り、1日5回もお祈りしていないキルギス人はたくさんいます。

ヒジャブ

イスラム教信者の女性が頭や体を隠すために身につけるものですが、キルギスの女性のほとんどが身に付けていません。町にヒジャブ屋さんはありますが、日常生活でヒジャブをしている女性は1割程度です。

ラマダーン（断食）が始まりました！

3月11日から「ラマダーン」という断食が始まりました。ラマダーンは約1か月続きます。この1か月間、イスラム教信者の人たちは日の出から日没まで、一切食べ物を食べません。水も飲みません。日の出前に朝ごはん、日没後に夜ご飯を食べます。ラマダーン用のカレンダーがあり、日の出と日没の時間を気にしながら生活をしています。今の時期は大体、日の出が5時半ごろ、日没が19時ごろなので、19時～5時半の間にしか食べ物を食べることができません。なかなか過酷なので、健康な人しか断食はしません。小さい子供や妊婦さん、病気を患っている人は断食をしなくてもよいです。中学生くらいだと約8割の生徒が断食をしているように感じます。いつもより早起きしなくてはいけなし、お腹もすくし、大変だなと私は想像していましたが、キルギスの生徒たちはラマダーンが好きと言います。「自分の欲望を我慢することを覚え、他人に優しくできるようになる。」「ラマダーンはイスラム教信者にとって特別な期間だから」という意見がありました。私は断食していないことを生徒に伝えると「断食していないの？なんで？？」と生徒たちは驚いて質問してきます。そのくらいこの国では、ラマダーンは当たり前であり、特別な期間であるのだなと感じています。

豚肉とお酒

イスラム教信者が飲食してはいけない豚肉とお酒ですが、キルギス人はお酒を飲みます。しかし豚肉は決して食べません。首都には外国人が住んでいるので売られていますが、私の任地では売られていません。このようにキルギスはイスラム教といっても、自分の中でルールを守るラインを決めて生活しているのだなと感じています。